

わかりやすく、身近な総合事務局に

～年頭のご挨拶～

沖縄総合事務局 局長 竹澤 正明



あけましておめでとうござい
ます。新たな年が、皆様おひ
とりおひとりとって輝かしい年
となりますよう心からお祈りい
たします。さて、沖縄総合事務
局が創立以来40年に近づこうと
しておりますこの年、事務局長
として、「沖縄総合事務局のしこ
とが、県民の方々にとって、い
つそうわかりやすく、身近に感
じられる年」にしたいと存じます。

思いのほか暮らしに 近い事務局のついで

総合事務局には、6つの部が
あります。その間口は広く、ク
レジットカードや利息に関する

出前講座、都市と農村の間のこ
どもたちの交流支援、中小企業
支援のワンストップサービス、
不発弾対策の推進、沖縄自動車
道全線無料化社会実験など…。
いかがでしょうか、お金のこと、
道路のことなど、日々の生活に
直結しています。

記者発表はわかりやすく

しかし、県民の皆様にとどのくら
い伝わっているでしょうか。今後
の記者発表案件について、わかり
やすく、そして、日々の生活に具
体的にどうつながっているのか
の説明に努めてまいります。い
ずれの発表案件についても、正確
さを期することはもとよりです
が、役所の側でなく、読み手の側
に立って、わかりやすい情報発信
となるよう心がけてまいります。

心に届く局長あいさつを

私は、一昨年7月の就任以来、
諸行事に出席させていただくに
際し、できる限り、あいさつ原
稿を読まないよう、努めてまい

りました。その理由は、書いた
ものを読むことが、マッチする
場合、そうでない場合、の双方
のケースがあり、たまたま後者
が多かったためです。貴重な時
間をさいて、聞いてくださる方
々の心に届くかどうか、あいさ
つはその場限りのものではなく、
事務局と県民の皆様をつなぐ大
切な機会だと自覚しています。

県下41市町村長さんとの 対話から学ぶ

一昨年の秋以来、事務局長と
して県下市町村に伺っておりま
すが、改めて、行政の最前線は
市町村だという思いを深くして
おります。「わかりやすさ」には
日頃から心を砕いておられる市
町村長さんから、諸プロジェクト
の現況について、情熱あふれ
る説明を伺っています。その際
には、市町村の将来像はもとよ
り、県や国との連携のあり方、
諸施設の住民の方々にとっての
使い勝手や要望を含め、大いに
教えられています。

行政情報プラザに お立ち寄りください

那覇のおもろまち庁舎一階に
は、情報発信スペースとして、行
政情報プラザがあります。これ
までに、二千円札の普及、食生
活のバランス維持、資源リサイ
クル、沖縄ブランド商品の紹介、
沖縄大学院大学の開学準備状況
の紹介などさまざまな展示を行
ってまいりました。これから、
県民の皆様によりわかりやすい展
示につとめてまいります。

以上、新年にあたり抱負を述
べさせていただきました。沖縄
総合事務局を率いる立場として、
今年も心してまいりますので、
県民の皆様の忌憚のないご批判
と、あたたかい励ましをよろし
くお願い申し上げます。

